

# 平成 31 年事業報告書

社会福祉法人 至福の会  
法人本部  
特別養護老人ホーム むさしの園  
むさしの園ショートステイ  
特別養護老人ホーム むさしの園わかば  
ケアハウス むさしの園  
むさしの園デイサービスセンター  
むさしの園デイサービスセンター富士見  
むさしの園在宅介護支援センター  
むさしの園ホームヘルプサービス  
サービス推進課  
生活困窮者に対する相談支援事業  
ひまわり保育園  
むさしの森保育園

## 目 次

|                    |               |
|--------------------|---------------|
| 法人本部               | P 1 ～ P 5     |
| 特別養護老人ホーム むさしの園    | P 6 ～ P 1 7   |
| むさしの園ショートステイ       | P 1 8 ～ P 1 9 |
| 特別養護老人ホーム むさしの園わかば | P 2 0 ～ P 3 0 |
| ケアハウス むさしの園        | P 3 1 ～ P 3 2 |
| むさしの園デイサービスセンター    | P 3 3 ～ P 3 6 |
| むさしの園デイサービスセンター富士見 | P 3 7 ～ P 3 9 |
| むさしの園在宅介護支援センター    | P 4 0 ～ P 4 3 |
| むさしの園ホームヘルプサービス    | P 4 4 ～ P 4 6 |
| サービス推進課            | P 4 7 ～ P 4 8 |
| 生活困窮者に対する相談支援事業    | P 4 9 ～ P 5 0 |
| ひまわり保育園            | P 5 1 ～ P 5 2 |
| むさしの森保育園           | P 5 3 ～ P 5 4 |

# 法人本部

## 1 法人の概要

- (1) 主たる事務所の所在地  
埼玉県狭山市南入曽 1044 番地 1
- (2) 代表者名  
理事長 大野 裕 明
- (3) 法人認可年月日  
平成 9 年 3 月 19 日
- (4) 法人認可番号  
指令高福第 1745 号
- (5) 法人認可登記年月日  
平成 9 年 3 月 21 日

## 2 法人の行う事業

### (1) 第 1 種社会福祉事業

| No | 施設種別             | 利用定員  |
|----|------------------|-------|
| 1  | 特別養護老人ホーム（従来型）   | 84 名  |
| 2  | 特別養護老人ホーム（ユニット型） | 100 名 |
| 3  | ケアハウス            | 20 名  |

### (2) 第 2 種社会福祉事業

| No | 施設種別            | 利用定員 |
|----|-----------------|------|
| 1  | ショートステイ         | 16 名 |
| 2  | デイサービスセンター（入曽）  | 60 名 |
| 3  | デイサービスセンター富士見   | 50 名 |
| 4  | 在宅介護支援センター      |      |
| 5  | ホームヘルプサービス      |      |
| 6  | 生計困難者に対する相談支援事業 |      |
| 7  | 企業主導型保育所        | 17 名 |

### (3) 公益を目的とする事業

| No | 施設種別        | 利用定員 |
|----|-------------|------|
| 1  | 居宅介護支援事業所   |      |
| 2  | 訪問介護員養成研修事業 | 24 名 |

### 3 理事会の開催状況

| 開催年月日            | 出席者数 |    | 審 議 ・ 決 議 事 項  |
|------------------|------|----|--|
|                  | 理事   | 監事 |  |
| 平成 31 年 5 月 29 日 | 6    | 2  | 1 30 年度事業報告について<br>2 30 年度決算報告について<br>3 監事監査報告について<br>4 令和 1 年度補正予算（案）について<br>5 ショートステイの一部特養変換について<br>6 定款一部変更について<br>7 就業規則等の一部変更について<br>8 土地購入について<br>9 借入について<br>10 むさしの森保育園について<br>11 定時評議員会について |
| 令和 1 年 6 月 14 日  | 6    | 2  | 1 理事長の選出について<br>2 土地賃貸契約について<br>3 土地購入について<br>4 令和 1 年度第 2 次補正予算（案）について  |
| 令和 1 年 9 月 5 日   | 6    | 2  | 1 入札業者選定について<br>2 指名競争入札の結果による契約業者選定について<br>3 第 3 次補正予算について<br>4 就業規則・給与規程の一部改訂について<br>5 資金借入等について<br>6 重要な人事について  |
| 令和 1 年 11 月 28 日 | 6    | 2  | 1 むさしの森保育園と運営規程の一部改訂について<br>2 給与規程の一部改訂について<br>3 特定処遇加算の細則について<br>4 出張旅費規程の一部改訂について<br>5 個人情報の取扱規程について<br>6 育児休業規程の一部改訂について<br>7 リハビリロードについて<br>8 第 4 次補正予算について<br>9 契約の変更について                       |

|           |   |   |  |
|-----------|---|---|--|
| 令和2年3月26日 | 6 | 2 | 1 就業規則の一部改訂について（介護・保育）<br>2 給与規程の一部改訂について（介護・保育）<br>3 非常勤職員等の給与に関する細則の一部改訂について（介護・保育）<br>4 令和1年度第5次補正予算について<br>5 令和2年度事業計画（案）について<br>6 令和2年度当初予算（案）について<br>7 定款施行細則の一部改訂について<br>8 特別養護老人ホームむさしの園の大規模修繕（案）について<br>報告事項<br>理事長の活動と決裁状況について |
|-----------|---|---|--|

#### 4 評議員会の開催状況

| 開催年月日     | 出席者数 |    | 審議・決議事項   |
|-----------|------|----|---|
|           | 評議員  | 監事 |   |
| 令和1年6月14日 | 7    | 2  | 1 平成30年度決算報告について<br>2 監事監査報告について<br>3 定款の一部改訂について<br>4 理事・監事の選出について<br>5 平成30年度事業報告について |
| 令和1年6月14日 | 7    | 2  | 1 ショートステイの一部を特養に変更することについて<br>2 評議員会の議案について<br>評議員・監事全員から同意書を頂けました。                     |

#### 5 監事監査の状況

| 監査年月日      | 監査内容及び結果  |
|------------|---|
| 平成30年5月29日 | <p>内容</p> <p>社会福祉法人至福の会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度に関して、理事の業務執行状況及び社会福祉法人至福の会の財産状況について「監事監査重点項目」に従って監査を実行した。</p> <p>結果</p> <p>平成30年度の社会福祉法人至福の会の事業報告、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び決算付</p> |

|                                  |
|----------------------------------|
| 属明細書は関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正であった。 |
|----------------------------------|

## 社会貢献活動報告

### 1、生活困窮者に対する相談支援事業

生活困窮者3名に対し、食糧・光熱費・交通費などの現物支給を行い、生活基盤の立て直しを目的として支援しました。

### 2、フードバンク事業

規格外の品物や賞味期限が近い食品などを困っている方へ配布しました。

### 3、グラウンドゴルフ事業

地域の高齢者を対象に法人の敷地に整備したグラウンドゴルフ場を低料金で開放しました。月に延べ200名前後の利用がありました。多い月には延べ人数で300名以上の利用がありました。

### 4、ふれあいの会

6月と11月の年2回、地域の介護保険対象外の高齢者を集め、福祉講座や介護予防運動、バイキング型食事を低額で提供しました。両日ともに50名程度の参加がありました。

### 5、わかばカフェ

毎月、第二火曜日の14時から軽度の認知症高齢者や認知症高齢者を抱えるご家族、地域の高齢者が集まり、コーヒー等を飲みながら過ごしていただきました。年度の後半は新型コロナウイルス感染防止に伴い、開催を控えました。

### 6、地元自治会夏祭りの場所を提供

7月に予定していた夏祭りは台風の接近に伴い中止となりました。次年度は、台風による影響がない10月へ開催を変更することなので、引き続き場所の提供を行う予定です。

### 7、狭山市七夕祭りのやらい設置

やらいを設置し狭山市七夕祭り活性化の一翼を担いました。しかし、猛暑の影響で施設入居者様やデイサービス利用者様は見学に来ることはできませんでした。

特別養護老人ホーム  
むさしの園



### 今年度の目標（全体）

利用者様個々のニーズに合った介護の提供と、心身状態の重度化に対応した援助を行い、その方らしい継続的な生活を提供できるよう努めました。

年間平均要介護度 4.1

平均年齢 男性 82.8 歳

女性 85.4 歳

年間在園者実績 96.6%

### 人材定着の取り組み

年間離職率 26.6%

業務マニュアル等を用い指導し、新人職員が学びやすい環境づくりに努めました。また睡眠センサーを導入し、職員の負担軽減を行いました。外国人介護技能実習生に対しては適切に業務及び日本語指導を行い、職場環境に慣れるよう指導しました。

### 行事

4 月：お花見 6 月：運動会

9 月：敬老会 11 月：味覚会

12 月：忘年会

季節感を感じていただけるよう、定期的に全体行事の提供を行いました。

また、集いや手作りおやつなどの日常レクを随時提供し、日々の生活の充実を目指しました。

### 研修

内部研修参加率 72.5%

生活相談員、介護主任、看護職員が中心となり介護技術や感染症、ターミナルケア等の研修を行いました。

また、埼玉県老施協、埼玉県経営協、厚労省等が主催する外部研修へ職員が参加することで自己研鑽に努めました。

### リスクマネジメント

利用者様個々の状態に応じた環境整備や予防対策を行うことで、安全確保及び事故の未然防止に努めました。

また、事故発生時には多職種で対応策を検討し再発防止に努めました。

さらに施設内の消毒や感染予防を徹底し、施設内でのインフルエンザ等の発生を防止することができました。

### 看取り

施設内での年間看取り者数 22 名

主治医、看護師、介護職員とご家族との円滑な連携を行うことで、身体的・精神的な負担を軽減するケアの提供に取り組み、利用者様・ご家族に満足していただけるよう最善を尽くしました。

### 今年度の目標（医務）

- ・利用者様の身体・精神・生活状況を踏まえ、体調の変化を早期に感じ取り、対応に繋がられました。
- ・ターミナルケアの対応として、苦痛緩和に心がけ、その方らしい最期を共に迎えることができるように努めました。

### 人材定着の取り組み

- ・新人職員の指導は概ね1人の担当者が1名を指導する形を取り、1か月かけ、オンコール対応等ができるように努めました。
- ・回診等については、全ての業務を習得してから少しずつ指導を行いました。指導中、質問しやすい雰囲気づくりを心掛けました。

### 行事

- ・敬老会や入居者忘年会等に医務もともに参加を行いました。また誤嚥や怪我が生じる利用者様もなく、安全に行事を終える事ができました。
- ・行事の準備段階から積極的に関わることで、より利用者様が楽しめるように協力しました。

### 研修

- ・緊急時の対応等の研修を、入職時等の機会に実施しました。また都度必要だと判断した際は、必要な事項の指導を徹底しました。
- ・内部研修に参加し、医務職員全体で共有することで、より良い援助を行えるよう努めました。

### リスクマネジメント

- ・配薬方法の見直しを行い、定期薬は1日分・1食毎の配薬ケースへと変更したことで、配薬時の事故は大幅に減少しました。
- ・医療廃棄物、酸素ボンベ、処置台等については定期的に点検を行い、常時問題なく使用できるように努めました。

### 医療連携

- ・関係機関とは互いにコミュニケーションを取り、連携を図りました。特に嘱託医とはFAX等を活用し頻繁に詳細を伝える工夫を行いました。
- 一年間受診件数－  
かたぎりクリニック 144件  
埼玉石心会病院 82件  
その他 217件

## 平成 31 年度 事業報告書

### 事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 りんごチーム

#### 今年度の目標（りんごチーム）

- ・利用者様のニーズや意思を尊重し、チームで話し合いながら、それぞれの利用者様に応じた対応を行いました。
- ・認知症に寄り添い、個々が傾聴を意識し不安・不穏軽減に努めることができました。
- ・ショートステイ利用者様の日中の様子を詳細にケースに記録し、情報共有を行うことができました。

#### 人材定着の取り組み

- ・皆が職場の雰囲気大切に、相談しあえる環境作りに貢献しました。
- ・新入職員や実習生の指導を皆で行い、知識や技術の向上に努めることができました。また外国人技能実習生には、本人が分かるよう丁寧に説明を行い、理解できるまで何度も指導を行いました。

#### 行事

- ・毎月の装飾を利用者様と共に作成することで、季節に関する会話が生じ職員や利用者とのコミュニケーションの場とすることができました。
- ・アニマルセラピーという新しい取り組みを行うことで、認知症の方と自立度の高い方が談笑される機会が増えました。

#### 研修

- ・内部研修への参加意識を個々が持ち、参加で得た知識や技術を業務に活かすことができました。
- ・外部研修に参加することができた。また資料をファイリングし全職員が閲覧できるよう取り組みました。
- ・職員 2 名が実務者研修を修了する

#### リスクマネジメント

- ・転倒、転落リスクの高い利用者様に対し、情報共有を行い特性を洗い出し予防に努めました。
- ・利用者様の外傷発生を繰り返してしまうことがあったが、都度話し合いより安全な対応を統一し発生頻度を抑えることができました。

#### その他

- ・職員の退職により清掃回数が減ってしまいましたが、チーム全体で清潔保持を意識することができました。
- ・定期的に換気を行い感染予防に努めました。
- ・利用者様の希望や特性に合わせ居室のレイアウトを変えくつろぎの空間づくりに取り組みました。

## 平成 31 年度 事業報告書

事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 すももチーム

### 今年度の目標 (すももチーム)

- ・利用者様一人ひとりを常に観察し身体面、精神面の細かな変化にもすぐ気づき、チーム内で情報共有を行い統一した支援を行えました。
- ・利用者様の立場になり、尊厳や感謝を忘れず、訴えや不安感を受けとめ、安心感のある生活が送れるように職員一人ひとりが意識し取り組みました。

### 人材定着の取り組み

- ・新人職員が見て分かりやすいよう、業務マニュアルの見直しを行い、統一した指導を行えました。
- ・職員同士、不安なことや負担に感じていることを話し合い、チーム全体で共有し助け合いながら働きやすい環境づくりに努めました。

### 専門性の追求

- ・テレビや本などから最新の認知症ケアについて情報を得て、職員間で話し合いを行えました。
- ・利用者様個々の認知症状、生活習慣等を把握し、個々のニーズに合ったケアを職員それぞれが考え、チーム内で情報共有をし、安心した生活が送れるように支援しました。

### 人材成長・自己実現

- ・認知症について改めて考えて理解を深め、ケアの基本を見直し業務に取り組みました。
- ・チーム会議内でむさしの園クレドの再確認を行い、「挨拶・笑顔・感謝の言葉」を意識して業務に取り組むことが出来ました。

### リスクマネジメント

- ・利用者様の状態観察を行い、適切な対応を常に考え、職員間で情報共有を行い、事故予防に努めました。
- ・見守りセンサー導入後、利用者様の行動をこれまでよりも早く察知する事ができ、迅速な対応が可能となったため、夜間の転倒等事故の低減が行えました。

### 住環境整備

- ・毎日の体操や歌、楽しめる行事や安心した生活が送れるよう環境整備を行い、季節感を感じてもらいADLの維持や心身の健康、認知症予防を意識して取り組みました。
- ・清潔な環境づくりを常に意識し、感染予防に努めました。

## 平成 31 年度 事業報告書

事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 かりんチーム

### 今年度の目標（かりんチーム）

- ・個々の身体・精神面のニーズに寄り添った援助を行い、安心・安楽な生活を提供することが出来ました。
- ・チームで尊厳への理解を深め、尊重する介助が行えました。
- ・各居室に芳香剤を設置、壁紙のレイアウト等を行ない、馴染みのある生活空間を提供することができました。

### 人材定着の取り組み

- ・業務分担や業務の簡略化等を行ない、個々の負担が軽減するようチーム全体で考え、実践することで退職者を 0 人にすることができました。
- ・コミュニケーションを積極的に図り、チーム内の雰囲気作りを意識し、業務を気持ちよく行えるよう取り組みました。

### 行事

- ・チーム費を活用し、新年会の獅子舞の披露など、今までではなかった・出来なかった行事内容を計画、提供することができました。また、行事毎の装飾等も様々なものをするこことで、利用者様も五感で味わい、良い刺激を提供することへと繋がりました。

### 研修

- ・特養、他部署の研修参加を促し参加率 100%を達成できました。また、チーム全体で知識、技術の向上を図り多くの情報を共有できました。
- ・利用者様個々の状態把握を周知、理解するよう取り組み、それらに合わせたケアの提供、意見を取り入れ実践に繋げることができました。

### リスクマネジメント

- ・危険が予測されることをチームで周知し、事故を未然に防ぐ対応が行えました。
- ・ひやりはっと、事故報告書の件数を昨年に比べ減少させることができ、職員個々の危険意識の向上が図れました。

### ターミナルケア

- ・言葉遣いへの配慮に努めながら、日々のケアでの、寄り添った介護を意識的に取り組みました。
- ・チーム全体で、利用者様にどのような生活を送って頂きたいかを共有し、共通目標として取り組みました。

## 平成 31 年度 事業報告書

事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 あんずチーム

### 今年度の目標（あんずチーム）

- ・利用者様の状態を細目に観察して、個々に合ったケアに努めました。
- ・利用者様のプライバシー保護を意識して業務に当たるように努めました。また、ケアを行う際は声掛けを行い、安全に配慮して行いました。

### 人材定着の取り組み

- ・穏やかで明るいチーム作りを意識する事で、自然と職員の笑顔が増えました。今後も互いに成長出来るような環境作りに努めたいです。
- ・また業務分担や、負担軽減のために業務の見直しを行い、働きやすい環境づくりに取り組みました。

### 行事

- ・季節やイベントごとに装飾を変えることで施設内にいながらも四季を感じてもらえるように努めました。
- ・様々な身体状態の利用者様に少しでも楽しんで頂けるように工夫をこらした行事計画に努めました。

### 研修

- ・内部研修、外部研修に参加する事で職員 1 人 1 人の知識や専門性の向上に努めました。
- ・また研修で得た知識を、チーム職員全体へ周知し、共有することで、チーム全体のレベルアップに取り組みました。

### リスクマネジメント

- ・日々の利用者様の状態把握を心掛け、安心・安全な生活の提供に努めました。
- ・ヒヤリハット・事故発生時には報告書の作成を行い、チーム内で原因分析、今後の対応を考え再発防止に努めました。

### 胃ろう者へのケア

- ・利用者様 1 人 1 人に合った栄養摂取方法、管理方法を考え、多職種と連携してより良い提供が行えるように努めました。
- ・利用者様が安心して生活出来る様に胃ろう者に対するケアの向上に努めました。

## 平成 31 年度 事業報告書

### 事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 各委員会

#### レクリエーション委員会

- ・毎月 10 日までに月間予定表を作成し、余暇支援表の提出を滞りなく行いました。
- ・季節ごとや毎月のイベントを考え、利用者様が楽しめるものを行うように努めました。また都度、計画書や報告書の作成・提出を遅れることなく行いました。
- ・イベントでは、職員がスムーズに動けるよう、タイムテーブルを作成することで、イベントが円滑に行えるように努めました。
- ・季節ごとにフロアの飾りつけを行い、利用者様が楽しめるよう、また季節感を感じられるように努めました。

#### 生活向上委員会

- ・毎月行う業務（陰洗ボトルの作成・利用者様の歯ブラシ交換・コーヒー等の水分物品発注・ポット洗浄）を滞りなく行いました。
- ・整髪スプレー、食事用エプロン、アイスノンの在庫確認を実施しました。
- ・タオル、バスタオル、青タオル、おむつカバー、布おむつ等の必要物品の在庫確認を行い、過不足のないように努めました。
- ・11月～3月の期間、加湿器の点検及び出入庫を行いました。今期は夏季のサンシェードは使用行わないも、物品の状態・在庫確認を行いました。
- ・9月：敬老会 11月：味覚会 12月：忘年会を委員が中心で実施しました。

#### 広報委員会

- ・偶数月ごとに広報誌を作成し、ご家族に配布することで、施設内での様子をお伝えできるように努めました。
- ・定期的にイベントのポスターを作成し、各チームで掲示を行うことで、ご面会にいらしたご家族や、利用者様に楽しんでいただけるように努めました。
- ・年度末に1年間のチーム毎で、全利用者様の様子をまとめたポスターを作成しました。
- ・写真発注・ポスター作成・アルバム管理・掲示物の更新業務をチーム毎に振り分け、業務時間の短縮と均等化を行いました。

利用者様状況

①食形態別人数

常食・常菜 20名 常食・刻み 1名  
 軟飯・常菜 6名 軟飯・刻み 9名  
 軟飯・超刻み 1名 粥・常菜 1名  
 粥・刻み 23名 粥・超刻み 8名  
 ミキサー・超刻み 1名 全ミキサー 8名  
 流動 7名

②療養食喫食者人数

糖尿食 3名 心臓病食 4名

栄養給与量

|      |      |      |     |     |
|------|------|------|-----|-----|
| 熱量   | 蛋白質  | 脂質   | Ca  | 鉄   |
| 1661 | 62.1 | 40.2 | 634 | 7.4 |
| kcal | g    | g    | mg  | mg  |
| VA   | VB1  | VB2  | VC  |     |
| 697  | 1.23 | 1.11 | 107 |     |
| μgRE | mg   | mg   | mg  |     |

行事食

季節を感じられるよう行事食を提供した。

- ・四季折々の行事

端午の節句、七夕、敬老の日、クリスマス、正月、バレンタイン etc

- ・毎月 誕生日食、特養喫茶店
- ・その他 各部署イベント etc

職員研修

狭山市内施設栄養士会議

- ・第2回会議（オリーブ）

勉強会「再入所時栄養連携加算について」

- ・第3回会議（むさしの園）

勉強会「リハビリについて」

議題「栄養ケアマネジメントにおける高リスクの判定基準について」

外部研修

- ・居宅サービスグループ研修会

「栄養に関する研修会」

嗜好調査

特養は回答可能な利用者様を対象に聴き取り調査、ケアハウスは利用者様自身がアンケート用紙に記入する形式で実施した。

- ①食事は楽しみですか？②ご飯・お粥の炊き具合はいかがですか？
- ③おかずの硬さはいかがですか？④食事の味付けはいかがですか？
- ⑤食事の量はいかがですか？⑥パンや麺料理の頻度はどうですか？
- ⑦食事についてどう思われますか？（満足度）
- ⑧献立に取り入れてほしい料理はありますか？⑨その他意見、希望

特養とケアハウス部署毎にそれぞれ差はあるものの、⑥以外全体的にちょうどいいと感じている方が多かった。不満を感じている方はほとんどいないので、意見を参考に維持向上し、より満足度を高めていく。

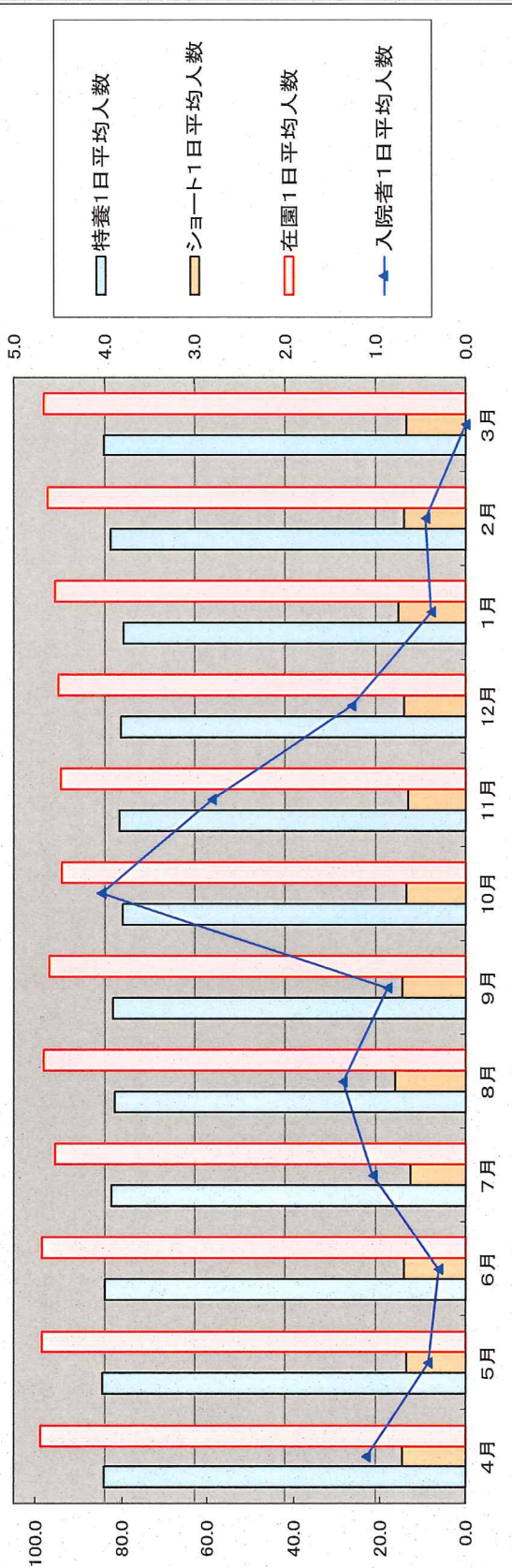


<誕生日食の内容報告>

| 月   | 内容   |
|-----|--|
| 4月  | たけのご飯、鶏の梅しそ天ぷら、かつおたたき、春野菜の炊き合わせ、菜の花の酢味噌和え、水菓子、生麩のお吸い物                  |
| 5月  | 山菜おこわ、から揚げ、五目卵焼き、かぼちゃの煮物、菜の花の辛子和え、メロン、とろろ昆布と三つ葉のお吸い物                   |
| 6月  | 枝豆ご飯、鶏天&夏野菜の天ぷら、錦糸しゅうまい、冬瓜となごみ巻きの炊き合わせ、ほうれん草のおかか和え、メロン、生麩とそうめんのお吸い物    |
| 7月  | あなご散らし、冷製豚しゃぶ、野菜巾着の炊き合わせ、スイカ、つみれと生麩のお吸い物                               |
| 8月  | 五目ご飯、桜海老クリームコロッケ、高野卵焼き、華茶巾とオクラの炊き合わせ、モロヘイヤのお浸し、ロールケーキ(メロン・スイカ)、生麩のお吸い物 |
| 9月  | きのご飯、ヒレカツ、銀鮭の西京焼き、炊き合わせ、小松菜のごま和え、梨、お吸い物                                |
| 10月 | 栗おこわ、天ぷら、五目卵焼き、炊き合わせ、いんげんのごま和え、柿、紅葉人参のお吸い物                             |
| 11月 | 鮭といくらの親子ご飯、豚の角煮、ほうれん草のごま和え、りんご、手まり麩とそうめんのお吸い物                          |
| 12月 | 五目ご飯、鶏の竜田揚げ(おろしポン酢和え)、花咲き包み蒸し、つみれと野菜の含め煮、ほうれん草の柚子香り和え、ラフランス、お吸い物       |
| 1月  | 赤飯、鶏肉の野菜巻き、天ぷら、巾着の含め煮、春菊のくるみ和え、いちご、手鞠麩のお吸い物                            |
| 2月  | 五目ご飯、刺身の盛り合わせ、五目豆腐、つみれと冬瓜の含め煮、春菊のお浸し、いちご、そうめんのお吸い物                     |
| 3月  | 桜ちらし寿司、天ぷら(3種盛り)、煮しめ、ケーキ、あさりと三つ葉のお吸い物                                  |

平成31年度 むさしの園 在園者実績人数

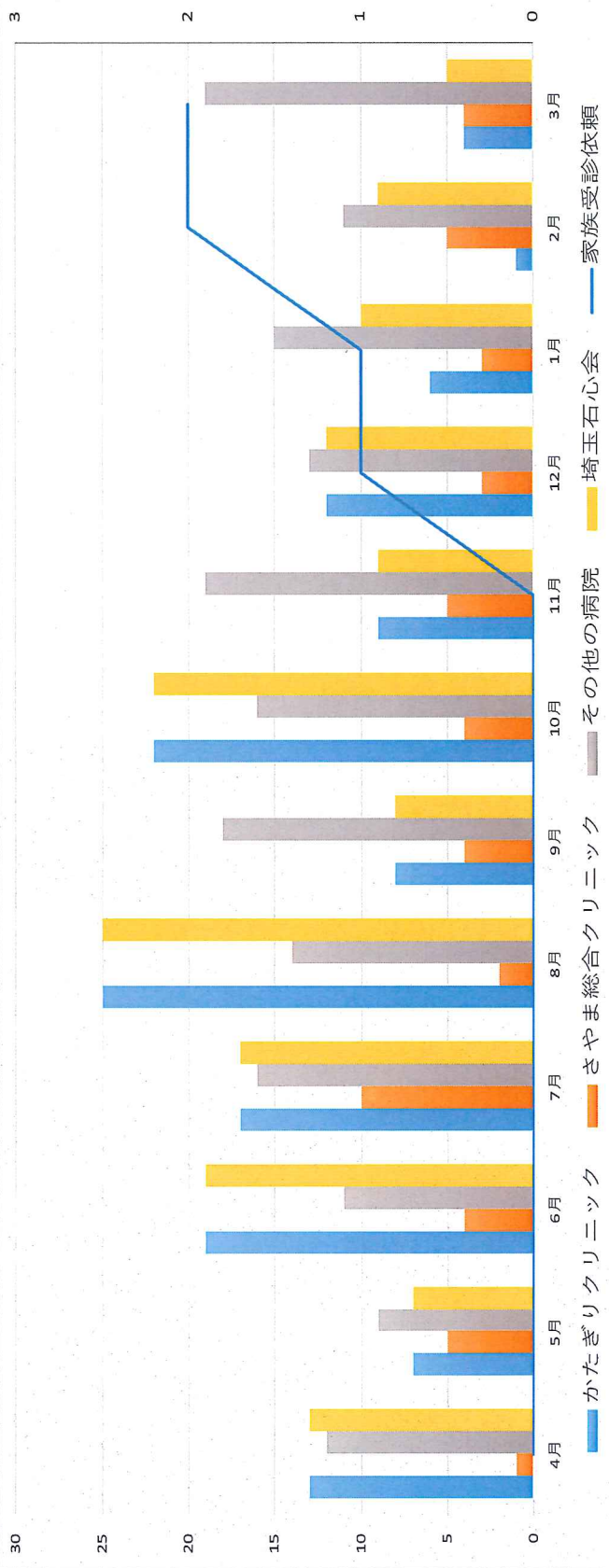
2020/5/6



| 令和1年度           | 4月          | 5月          | 6月          | 7月          | 8月          | 9月          | 10月         | 11月         | 12月         | 1月          | 2月          | 3月          | 平均          | 前年度         |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 特養1日平均人数        | 84.1        | 84.5        | 83.9        | 82.4        | 81.6        | 82.0        | 79.9        | 80.6        | 80.3        | 79.7        | 82.6        | 84.1        | 82.1        | 82.5        |
| シヨート1日平均人数      | 14.8        | 13.9        | 14.4        | 12.9        | 16.5        | 14.8        | 14.0        | 13.5        | 14.5        | 15.7        | 14.5        | 13.9        | 14.5        | 15.7        |
| 入院者1日平均人数       | 1.1         | 0.4         | 0.3         | 1.0         | 1.4         | 0.9         | 4.0         | 2.8         | 1.3         | 0.4         | 0.4         | 0.0         | 1.2         | 1.1         |
| <b>在園1日平均人数</b> | <b>98.9</b> | <b>98.4</b> | <b>98.3</b> | <b>95.3</b> | <b>98.1</b> | <b>96.8</b> | <b>93.9</b> | <b>94.1</b> | <b>94.7</b> | <b>95.4</b> | <b>97.0</b> | <b>98.0</b> | <b>96.6</b> | <b>98.2</b> |
| 特養月間延べ人数        | 2,522       | 2,619       | 2,517       | 2,554       | 2,531       | 2,460       | 2,477       | 2,419       | 2,488       | 2,471       | 2,394       | 2,606       | 2,504.8     | 2,509.9     |
| シヨート月間延べ人数      | 444         | 432         | 433         | 401         | 511         | 444         | 433         | 405         | 448         | 487         | 420         | 431         | 440.8       | 478.8       |
| 延べ入院者日数+入院前後日数  | 33          | 13          | 9           | 32          | 42          | 26          | 125         | 84          | 39          | 12          | 13          | 0           | 35.7        | 32.1        |
| 面会者人数           | 355         | 473         | 402         | 363         | 383         | 416         | 349         | 364         | 447         | 433         | 319         | 0           | 358.7       | 386.7       |
| 措置入所依頼(特養)      | 1           | 1           | 1           | 0           | 0           | 1           | 1           | 1           | 1           | 1           | 1           | 1           | 0.8         | 0.8         |
| 措置依頼利用人数(短期)    | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0.0         | 0.7         |
| 入居者数            | 0           | 1           | 1           | 3           | 3           | 4           | 2           | 2           | 3           | 3           | 3           | 1           | 2.2         | 2.2         |
| 退居者数            | 0           | 1           | 3           | 2           | 6           | 1           | 3           | 2           | 5           | 2           | 0           | 0           | 2.1         | 1.7         |
| 申込者数            | 4           | 3           | 7           | 3           | 6           | 6           | 9           | 7           | 6           | 5           | 6           | 3           | 5.4         | 5.6         |

平成31年度 特別養護老人ホームむさしの園受診回数一覧表

2020年4月3日



| 病院/月       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| かがりクリニック   | 13 | 7  | 19 | 17 | 25 | 8  | 22  | 9   | 12  | 6  | 1  | 4  | 143 |
| さやま総合クリニック | 1  | 5  | 4  | 10 | 2  | 4  | 4   | 5   | 3   | 3  | 5  | 4  | 50  |
| その他の病院     | 12 | 9  | 11 | 16 | 14 | 18 | 16  | 19  | 13  | 15 | 11 | 19 | 173 |
| 埼玉石心会      | 13 | 7  | 19 | 17 | 25 | 8  | 22  | 9   | 12  | 10 | 9  | 5  | 156 |
| 送迎ドライバー対応  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —   | —   | 13  | 14 | 21 | 24 | 72  |
| 家族受診依頼     | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —   | —   | 1   | 1  | 2  | 2  | 6   |
| 合計         | 39 | 28 | 53 | 60 | 66 | 38 | 64  | 42  | 40  | 34 | 26 | 32 | 522 |

# むさしの園ショートステイ

### 利用者様状況

|         |         |             |       |
|---------|---------|-------------|-------|
| ・年間利用実績 | 5, 289日 | ・平均要介護度     | 2.7   |
| (男性)    | 1, 951日 | ・平均年齢       | 83.4歳 |
| (女性)    | 3, 338日 | ・1日平均利用数    | 14.5人 |
| ・新規利用者数 | 53人     | ・送迎回数(1人片道) | 911回  |

### 利用者様本位

利用者様本人、ご家族のご要望に応じた対応を行っています。また、一人ひとりとコミュニケーションを取り、利用者様本位に努めています。

施設のスケジュールに沿った生活リズムをご案内しますが、居室で過ごす、テレビを見る等、自由に過ごしていただいています。

- ・在宅困難者(長期利用) 12人 月に20日以上のご利用、または連続して30日ご利用の方
- ・毎月利用日固定者 36人 固定された日程で自動的に予約します
- ・夫婦同時利用 2組 2人部屋を夫婦同室でご利用いただきます

### 専門性の追求

特養のチームケアに基づき、ご本人に合った対応を行っています。

- ・自立度の高い方、認知症の進行している方等
  - ・徘徊や帰宅願望の強い方に対しての声掛けや見守りセンサーを用いた対応
- また、ご本人の医療ニーズに合わせた看護・処置を行い安心できる生活を送っていただけるよう努めています。

- ・胃ろう : 2名 経管の接続・解除、栄養の流入を1日2回実施
- ・ストマ対応 : 2名 ストマからの排便、洗浄、および交換を随時実施
- ・バルン対応 : 3名 バルンカテーテルからの排尿確認、バッグの洗浄
- ・インシュリン対応 : 1名 インシュリン注射を適宜(1日1回~3回)

### 地域連携

定期的に居宅支援事業所を訪問し、利用者様・新規利用希望者の状況を把握し地域の要望にお応えしております。また、市役所からの措置依頼も随時受け入れています。

- ・措置依頼 : 打診2件 ※内1件は在宅復帰困難である為特養措置として受入れ実施
- ・緊急受入加算 : 3名 計19日算定
- ・他事業所で受入れ、または追加利用を断られた方4名の受入れ実施

特別養護老人ホーム  
むさしの園わかば

今年度の目標

- ・ユニットリーダー研修受け入れ施設を目指し外部研修（じっくりコース全6回）に参加し理解を深めた。
- ・年間の稼働目標 98.2%には届かなかった。（平均 94.7 名、内ショートステイ 2.1 名）
- ・入居者様の生活をより良いものにするために 24H シートを作成した。

今年度の目標（職員）

- ・法人内部研修の実施（年 22 回）
- ・施設長により法人理念、施設方針の内部研修を行い、浸透に努めた。
- ・年間離職率 10%以下を目指したが 17.1%であった。
- ・職員の交流を増やすため勉強会の開催。（4 回）

行事

- ・むさしの園フェスタは天候により中止となったが、他の予定していた行事は行えた。
- ・特に、わかば祭りをご家族参加型で行うことにより楽しい時間を共有することができた。
- ・サークル活動として、書道クラブが定着した。（毎月第一土曜）

研修

- ・新型コロナウイルスの影響で回数に変更はあったものの内部研修（年 22 回）を行い、職員教育に努めた。
- ・外部研修の参加。（延べ 58 人）
- ・職員のスキルアップのため実務者研修の実施（参加 7 人）

リスクマネジメント

- ・入居者様の心身状態を観察し、情報共有することができ、埼玉県への事故報告は 0 件だった。
- ・ヒヤリハット報告書を変更し、職員のヒヤリハットへの意識を高めた。
- ・内部研修（年 2 回）を開催し知識の習得に努めた。

その他

- ・ユニットケア推進委員が外部研修に参加し、ユニットリーダー会議と同時開催している会議にて情報の共有を行った。
- ・外国人技能実習生として、モンゴルより 2 名の実習生の受け入れを行った。地域の清掃活動に技能実習生も参加し地域とのつながりが図れた。

今年度の目標（入居者様）

- ・入居者様、ご家族との信頼関係を構築し、医療への理解を得て入居者様の生活に貢献できた。
- ・看護職員が、疾患別のケアの仕方を統一し、介護職員へ指導、助言を行った。
- ・入居者様が施設で生活を継続できるように介護職、医師と連携を取り、支援するように努めた。

今年度の目標（職員）

- ・医務内で申し送りノートを活用し、情報共有に努めたが、確認不足も見られた。
- ・看護職員全員で協議しながら、共有化を図り、統一した看護ができるように考えることができた。
- ・介護職に対して医療知識向上のための小勉強会を全2回実施した。

多職種連携

- ・職員間でコミュニケーションを増やし、必要な情報がしっかりと得られるように連携を図ることができた。
- ・サービス担当者会議や看取りケアカンファなどで情報共有をしっかりと行い、問題解決の道筋を共に模索するように努めた。

看取りに対する思い

- ・入居者様がわかばで安楽に生活できるように支援し、わかばで出来る最高のケアを行うように努めました。
- ・入居者様、ご家族の心情に寄り添い、意向を確認しながら、穏やかに苦しみのない工夫をした。

リスクマネジメント

- ・個別の口腔ケアを介護職員と共に考え、誤嚥性肺炎等のリスクを減らせるように努めた。
  - ・事故の原因を介護職と共に検討し予防するように努めた。
- (入院総数 24 件、内誤嚥性肺炎 9 件)

その他

- ・研修に参加し、ユニットケアに対する意識を高め、ご本人の暮らしを第一に考える視点を持てるよう努めた。



今年度の目標（入居者様）

- ・入居者様一人ひとりのペースを大切にし、笑顔でコミュニケーションを取り、信頼関係の構築に努めた。
- ・入居者様からの意見を聞き取り、一緒に楽しみを見つけ、読書や買い物などの好きな事ができる環境を提供できた。

今年度の目標（職員）

- ・月に1回のユニット会議を開催した。事前に職員から、ユニット会議で話し合いたい内容を聞き取り、対応や解決策など積極的に意見交換することができた。職員全員が入居者様のことを第一に考えられるよう心がけた。

行事

- ・毎年恒例の運動会を5月に行い、椿ユニットだけでなく、他ユニットと合同で行う事で、賑やかで楽しい運動会を行うことができた。
- ・余暇推進委員会を中心に、入居者様から意見を聞き、企画実施に努めた。食事、おやつレク10回と目標には達しなかったが、外出レクは3回と目標を達成した。

看取りに対する思い

- ・6人の入居者様の看取りを行った。ご家族から本人の好きな食べ物や音楽など、なじみのあるものを持ち込んでもらい、環境整備に努めた。
- ・看護師と連携を図り、整容や安楽な姿勢に配慮し、安らかな最期を迎えられるよう、最善を尽くした。

リスクマネジメント

- ・事故が起きた際には、原因や対策などユニット全体で話し合い、対応策を職員全員が統一して行うよう努めた。
- ・事故検討委員会を中心に、他ユニットとの情報共有を図り、事故に対する意識を高める取り組みを行った。

その他

- ・椿ユニットの入居者様、ご家族、職員全員が「椿ユニットにいて幸せ」と思えるような、笑顔の絶えない明るい、和やかなユニットを目指し、日々職員同士のコミュニケーションを通して情報共有に努め、些細なことも言い合える関係作りに努めた。

今年度の目標（入居者様）

- ・入居者様の生活リズムに合った 24H を作成し活用する事で、入居前後の生活が同じく、継続出来る様に努めた。
- ・意思疎通の難しい入居者様とは、相手の気持ちに寄り添う力をつけ、気持ちを汲み取り尊厳を守り、安心して暮らせる環境作りに努めた。

今年度の目標（職員）

- ・ユニットケアの理念と共に、当法人の経営理念を念頭に内部研修、外部研修やクレドを通じて人を思いやる気持ちを改めて学び、入居者様の暮らしの継続を第一に考えサービス向上に努めた。
- ・資格取得の為、職員間で協力し勤務調整等行ない自己啓発できる環境を作った。

行事

- ・余暇推進委員会を中心に季節に合った制作レクや誕生日会、おやつレクを行い、四季を感じ取れるように努めた。
- ・入居者様同士のコミュニケーションが図れるように、間を取り持ちトラブルがないように努めた。

看取りに対する思い

- ・入居者様、ご家族の意向を尊重し主治医、医務等との連携を行い、手厚い看護、安楽な最後を迎えて頂ける様に最善を尽くした。
- ・心身の負担が軽減され、尊厳が守られた安楽な看取りが出来る様に努めた。

リスクマネジメント

- ・身体拘束、事故検討委員会を中心に事故分析を行い、ユニット会議で個々の対策意見を出し合う事で情報共有をして繰り返しの事故を減らし、危険予測が出来るように努めた。  
(年間事故報告書 55 件)

その他

- ・ユニット推進委員会を中心に、職員全員が 24H シートを学び、入居者様の一日に着目し作成を行なう事で、入居者様個々のニーズに合った統一ケアを目指す事に努めた。

今年度の目標（入居者様）

- ・入居者様の意思を尊重しながら、一人ひとりの時間を大切にしたいケアに努めた。
- ・入居者様ができることを大事にし、新たにできることを探し、増やしていく事で、意欲の向上や心身機能の維持に努めた。

今年度の目標（職員）

- ・ユニット職員一人ひとりの意見を大切にしながら、情報共有や意見交換を行ない、入居者様にとってより良いケアにつながるようケアの統一に努めた。
- ・日頃の業務の中で、特に余裕のない時こそ、感謝の気持ちを持ちお互いにフォローしあった。

行事

- ・季節に合わせた手作りおやつや誕生会を月 1 回行なった。
- ・他ユニットと合同の寸劇や紅白歌合戦など、入居者様や職員が共に楽しめる行事の企画・実施をした。
- ・風鈴祭や外食会、買い物会などの外出を行なった。（年 4 回）

看取りに対する思い

- ・入居者様や、ご家族の想いを大切にしながら、寄り添う時間を多く持つよう心掛け、ご家族も入居者様と長い時間過ごせるような環境作りを行なった。
- ・他職種と連携を図り、入居者様の清潔保持や安楽に過ごして頂けるようなケアを努めた。

リスクマネジメント

- ・事故報告書から、ユニット職員で原因・対策を話し合い、安全確保に努めた。また、事故報告書の多い入居者様には、事故検討委員会を中心に再度、原因分析を行うことで、リスクの意識を持つよう努めた。

その他

- ・ユニットで暮らしている入居者様に合わせたユニット内のしつらえを心掛けた。
- ・認知症症状のある方も、安心して過ごせるように家具や置物などの配置に配慮し、落ち着ける空間作りに努めた。

今年度の目標（入居者様）

- ・毎日の日誌・連絡ノート・ボード・PCのデスクトップを活用し情報の共有を行った。
- ・月に1度、ユニット会議の開催をした。
- ・サービス担当者会議で多職種と連携し一人一人の理解を深めた。

今年度の目標（職員）

- ・24Hシートを居室担当者が各自、見聞録で作成しユニット会議でその方の1日になっているか確認した。
- ・今後はこのツールを利用し、その方らしい1日を過ごせるように時間の調整をしていく事を目指す。

行事

- ・月に2回の行事を目標にし、他ユニット対抗の運動会やシイタケ狩りなど1年を通し合計で23回企画し実行した。（フェスタ中止）。
- ・料理レクは次に作るものの候補が毎回多数上がるほど定着している。
- ・書道、歌、喫茶レクや手作りのゲームを定期的開催。

看取りに対する思い

- ・医務と協力しながら看取り期の方に対し何が出来るのか、ユニット職員と検討しながら本人が好きだった物を居室やベッドの周りに飾り、好きな食べ物を提供することができた。細めに訪室し声をかけるなど最後まで寄り添えた。

リスクマネジメント

- ・離園の可能性のある入居者様に対し、行動を制限するのではなく行動把握のシート作成し、リスクが高くなる時間の割り出し、本人が出来る事を依頼し、役目、居場所があることにより安心感が形成され、フロアで過ごされる事が多くなり離園リスク自体が減った。

その他

- ・各ユニット職員が居室担当、委員会を担当し、ユニット内で、それぞれの専門性を向上させた
- ・実習生の受け入れをした。どこまで指導したのか分かるように、シートを作成することで、実習指導者が替わっても円滑に対応できるようにした。

今年度の目標（入居者様）

- ・入居者様の立場に立った、声の掛け方への意識は芽生えてきており、不適切に聞こえてしまう声掛けは無くなった。
- ・業務にゆとりを持つことにより入居者様の声に耳を傾け、生活リズムに配慮し楽しい環境づくりを提供した。

今年度の目標（職員）

- ・職員同士の意見交換は日々、増えてきており全員が同じ意識を持てるようになってきている。
- ・ユニット内の問題点を、1人で考え、行動してしまうことがあったため、全員で考え、意見を共有できるユニット体制を築いていく。

行事

- ・移動販売や移動図書などを利用し、個別の気分転換は少しずつ実施出来てきた。
- ・気分転換・笑顔になっていただくような企画を計画し実施できるようにユニット職員全体で考えて行えた。

看取りに対する思い

- ・多職種と連携をとり、入居者様、ご家族に最適な関わりとは何かをユニット内で考え、ケアにつなげた。
- ・内部、外部研修に参加し、知識を高めながら入居者様に寄り添うケアを行った。

リスクマネジメント

- ・事故報告書に対し、以前より色々な可能性を挙げて原因分析の意見交換が出来るようになってきている。
- ・事故予防対策についてはユニット職員が実践し、そこからどのような効果が得られたのか振り返る場が作りきれなかったため、今後の課題となった。

その他

- ・職員が資格取得を目指し、モチベーションの向上と知識、技術の習得に力を入れる事が出来た。
- ・職員の経験値を高めていけるように外部研修へ参加をすすめ、学んだ事を、ユニット内で共有、一丸となって入居者様のために行動できた。

食種状況

行事食

(令和 2 年 3 月 31 日現在 88 名  
うち 1 名は経管栄養)

|    |      |      |      |       |
|----|------|------|------|-------|
| 主食 | 常食   | 軟飯   | 粥    | ミキサー粥 |
|    | 39 名 | 10 名 | 27 名 | 11 名  |
| 副食 | 常菜   | 刻み   | 極刻み  | ミキサー  |
|    | 49 名 | 26 名 | 1 名  | 11 名  |

副食について

刻み～ミキサー食は主菜のみソフト食を提供

○誕生食…毎月、旬の食材や普段食べられないお刺身等を提供し、好評を得る事が出来た。またコスト面での配慮も行った。

○喫茶店…毎回テーマを決めて実施。新しい商品を取り入れながら、入居者様の楽しみの一つとなるよう店舗への相談等を密に行った。

○毎月のセレクトメニューの実施、クリスマス・お正月など季節に合わせた食事の提供も積極的に行った。

○6月わかば祭り開催…担当ユニットと綿密な打ち合わせを行い、焼きそば等の模擬店メニューを提供した。

栄養給与量

1 人 1 日 当 たり 平 均

|      |                 |               |           |
|------|-----------------|---------------|-----------|
|      | エネルギー<br>(kcal) | 蛋白質<br>(g)    | 脂質<br>(g) |
| 平均   | 1615            | 67.2          | 43.9      |
| 基準量  | 1578            | 52.2          | 40.3      |
| 充足率% | 102.3           | 128.7         | 108.9     |
|      | 食塩量<br>(g)      | カルシウム<br>(mg) | 水分<br>(g) |
| 平均   | 8.8             | 662           | 1171.0    |

研修

○狭山市内施設栄養士会議

6 月 12 日 ひろせの杜

セミナー「高齢者の脱水と熱中症」

10 月 9 日 オリーブ

新加算について・情報交換

2 月 12 日 むさしの園

リハビリロード見学・体験

情報交換

○内部研修

10 月 食中毒について 講義  
実施

○ユニットケア推進研修会

5 月、10 月、1 月に計 6 日間の研修に参加

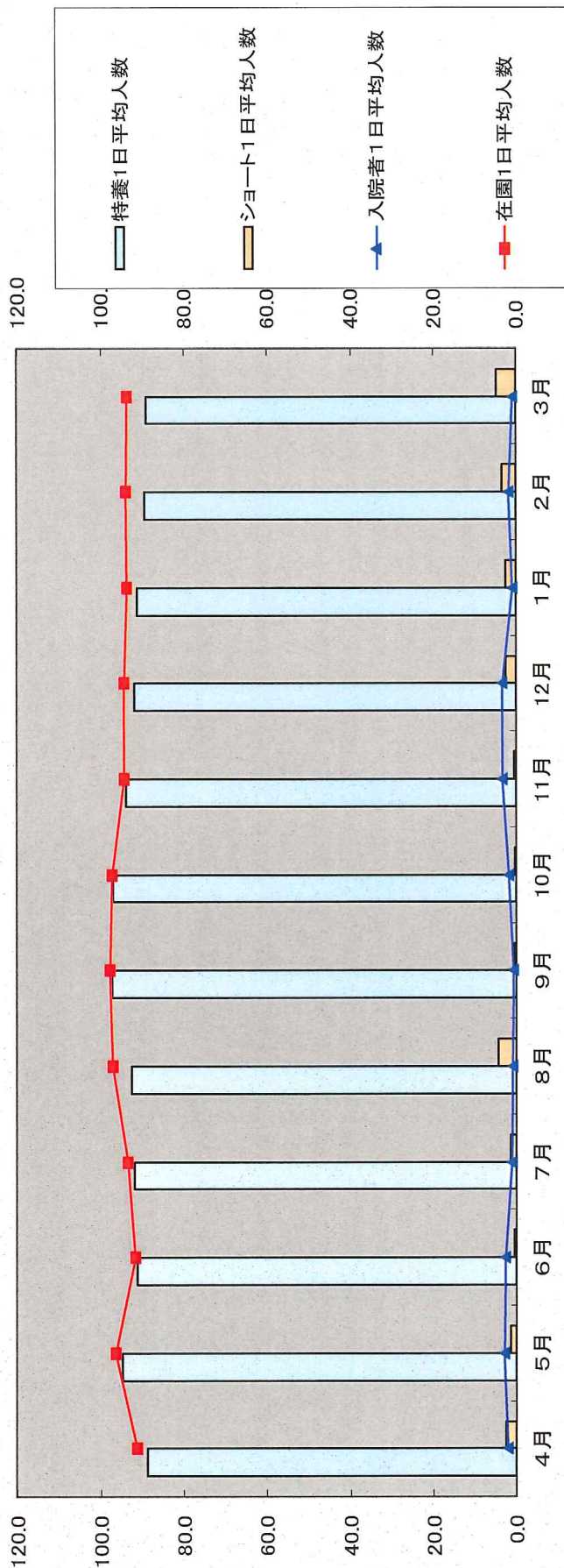
○ユニットケア推進委員会への参加

○ケアマニュアル作成に関する会議への参加

他職種間との連携や、24 シート活用について理解し、今後のユニットケアに向けての知識を得る機会となった。

# 在園者実績人数

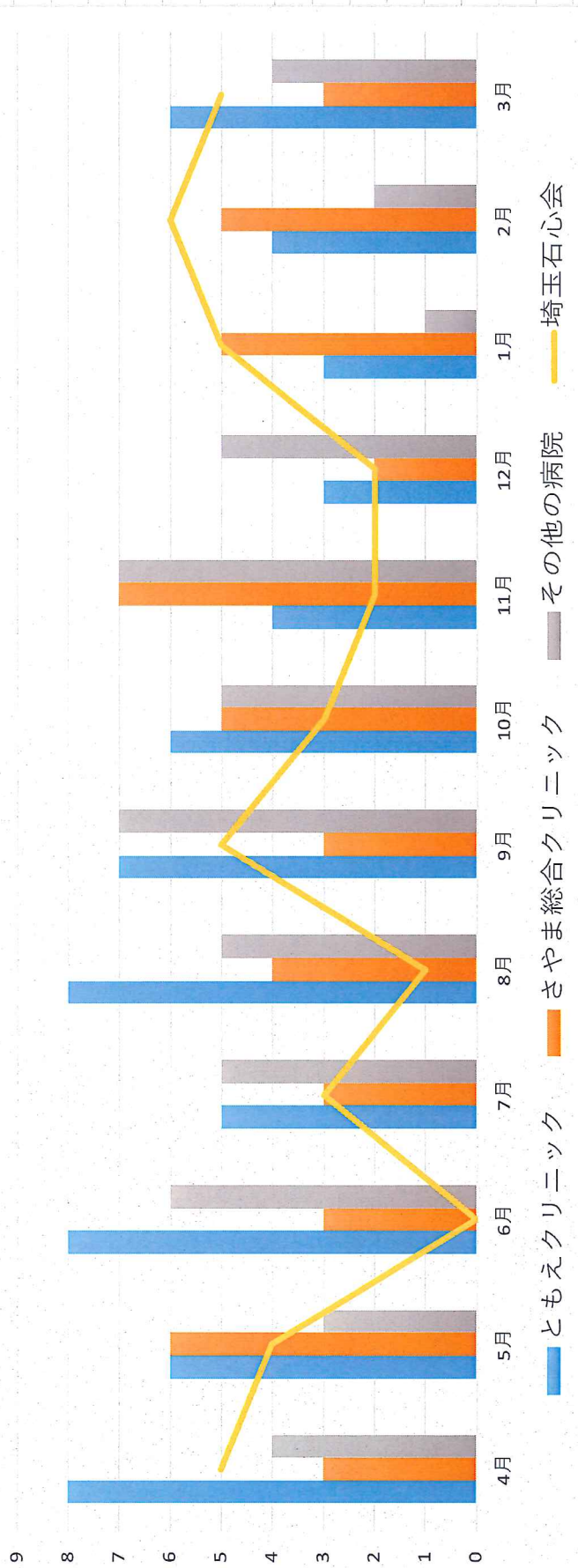
2020/5/1



| 平成31年度         | 4月     | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 平均     |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 特養1日平均人数       | 94.0   | 94.9  | 91.4  | 92.0  | 92.7  | 97.3  | 97.2  | 94.0  | 92.0  | 91.4  | 89.5  | 89.0  | 92.5   |
| ショート1日平均人数     | 1.9    | 1.5   | 0.5   | 1.5   | 4.3   | 0.5   | 0.1   | 0.5   | 2.5   | 2.5   | 3.5   | 4.7   | 2.1    |
| 入院者1日平均人数      | 1.4    | 3.1   | 2.8   | 1.2   | 1.0   | 0.7   | 1.9   | 3.5   | 3.5   | 1.1   | 1.8   | 1.0   | 2.0    |
| 在園1日平均人数       | 95.9   | 96.4  | 91.9  | 93.5  | 97.0  | 97.8  | 97.3  | 94.5  | 94.5  | 93.9  | 94.0  | 93.7  | 94.7   |
| 延べ面会者数         | 806.2  | 685   | 722   | 727   | 855   | 704   | 626   | 609   | 665   | 749   | 532   | 68    | 640.7  |
| 特養月間延べ人数       | 2859.6 | 2,943 | 2,741 | 2,851 | 2,875 | 2,919 | 3,012 | 2,819 | 2,851 | 2,832 | 2,596 | 2,759 | 2822.2 |
| ショート月間延べ人数     | 56.9   | 42    | 15    | 42    | 132   | 13    | 2     | 12    | 74    | 74    | 101   | 145   | 60.5   |
| 延べ入院者日数+入院前後日数 | 112.0  | 145   | 108   | 125   | 61    | 57    | 87    | 170   | 156   | 194   | 203   | 185   | 141.3  |
| 入居申し込み         | 3.7    | 4     | 3     | 3     | 4     | 3     | 4     | 2     | 2     | 2     | 3     | 1     | 34.0   |
| 入居者数           | 2.5    | 4     | 4     | 2     | 3     | 4     | 0     | 0     | 1     | 2     | 1     | 5     | 28     |
| 退居者数           | 3      | 2     | 2     | 3     | 0     | 1     | 1     | 2     | 2     | 6     | 2     | 4     | 30     |

令和元年特別養護老人ホームむさしの園わかば受診回数一覧表

令和2年5月6日



| 病院/月       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| ともえクリニック   | 8  | 6  | 8  | 5  | 8  | 7  | 6   | 4   | 3   | 3  | 4  | 6  | 68  |
| さやま総合クリニック | 3  | 6  | 3  | 3  | 4  | 3  | 5   | 7   | 2   | 5  | 5  | 3  | 49  |
| その他の病院     | 4  | 3  | 6  | 5  | 5  | 7  | 5   | 7   | 5   | 1  | 2  | 4  | 54  |
| 埼玉石心会      | 5  | 4  | 0  | 3  | 1  | 5  | 3   | 2   | 2   | 5  | 6  | 5  | 41  |
| 菅繕送迎       | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -   | -   | -   | 2  | 1  | 1  | 4   |
| 家族受診       | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -   | -   | -   | 4  | 4  | 4  | 12  |
| 合計         | 20 | 19 | 17 | 16 | 18 | 22 | 19  | 20  | 12  | 20 | 22 | 23 | 212 |



# ケアハウスむさしの園

利用者状況(定員20名)

(R2年3月31日現在)

入居状況 男6名 女12名 (合計18名16世帯)

平均年齢 86.2才 (男85才 女86.8才)

最高年齢 98才

最低年齢 70才

| 年齢層   | 男 | 女  | 計  |
|-------|---|----|----|
| 65～69 | 0 | 0  | 0  |
| 70～74 | 1 | 1  | 2  |
| 75～79 | 0 | 0  | 0  |
| 80～84 | 0 | 4  | 4  |
| 85～89 | 4 | 2  | 6  |
| 90～94 | 1 | 4  | 5  |
| 95～98 | 0 | 1  | 1  |
|       | 6 | 12 | 18 |

利用前の生活状況

| 利用前の居場所 | 男 | 女  | 計  |
|---------|---|----|----|
| 単身      | 3 | 7  | 10 |
| 夫婦      | 1 | 3  | 4  |
| 子供と同居   | 1 | 1  | 2  |
| 老人保健施設  | 0 | 1  | 1  |
| サ高住     | 1 | 0  | 1  |
|         | 6 | 12 | 18 |

年金受給状況(2つ以上受給者あり)

| 年金の種類    | 男 | 女  | 計  |
|----------|---|----|----|
| 国民年金(老齢) | 0 | 1  | 1  |
| (老齢基礎)   | 0 | 2  | 2  |
| (通算老齢)   | 0 | 1  | 1  |
| 厚生年金(老齢) | 5 | 7  | 12 |
| (通算老齢)   | 0 | 3  | 3  |
| (遺族)     | 0 | 3  | 3  |
|          | 5 | 17 | 22 |

介護認定

|   | 支援1 | 支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 未申請 |
|---|-----|-----|------|------|-----|
| 男 | 1   | 2   | 2    | 1    | 0   |
| 女 | 0   | 1   | 6    | 5    | 0   |
| 計 | 1   | 3   | 8    | 6    | 0   |

研修

外部4回・内部10回行い知識向上に努め、研修内容を活かし業務に生かす事が出来ました。

入居・退去状況

入居者 3人 退去者 3人

①新入居者3名の入居前の住所

・狭山市：2人 横浜市：1人

②申し込み理由

・特養わかばにご主人入居の為。

・特養わかばに親戚が入居、息子から勧められて。

・サ高住に入居、自立したい為

③退去理由

・入院1人 老健2人

利用前の生活地域

|     | 男 | 女  | 計  |
|-----|---|----|----|
| 狭山市 | 2 | 8  | 10 |
| 所沢市 | 1 | 2  | 3  |
| 川越市 | 1 | 0  | 1  |
| 横浜市 | 0 | 1  | 1  |
| 千葉市 | 1 | 1  | 2  |
| 新宿区 | 1 | 0  | 1  |
|     | 6 | 12 | 18 |

介護保険保険者

| 地域  | 男 | 女  | 計  |
|-----|---|----|----|
| 狭山市 | 2 | 8  | 10 |
| 所沢市 | 1 | 2  | 3  |
| 川越市 | 1 | 0  | 1  |
| 横浜市 | 0 | 1  | 1  |
| 千葉市 | 1 | 1  | 2  |
| 新宿区 | 1 | 0  | 1  |
|     | 6 | 12 | 18 |

行事

買い物ツアー・外食・わかばカフェ  
 新年会、忘年会に施設長・特養相談員・  
 DS相談員・ケアマネ・管理栄養士・保育園  
 管理者・サービス推進課、宿直者、多数  
 参加で情報交換となる。移動図書・移動  
 販売の誘導、7種クラブ活動を発足、活  
 気を増す。映画鑑賞会では、パンフレッ  
 ト・チケットの配布、特養利用者との交  
 流と共に懐かしい映像に感動をされる。

# むさしの園デイサービスセンター

### 利用者様状況

- ①平均要介護度 1.96
- ②男女比 男性 4 割 女性 6 割
- ③平均年齢 84.7 歳
- ④1 日平均 34.0 人
- ⑤月延べ平均 875.8 人
- ※利用状況別紙参照

### 利用者様本位

「自分の親に利用させたいデイサービス」を目標とし利用者様本位のサービスを提供できるように努めました。  
理学療法士や多職種とも連携しながら利用者様の自立支援にも力を入れることが出来ました。

### 人材成長・自己実現

- ①内部研修の実施  
毎月第 3 木曜日に内部研修を実施しました。外部講師の方にも協力いただきより専門的な研修を行う事ができました。
- ②外部研修参加  
職員への外部研修案内を行い積極的に参加しています。参加後会議にてフィードバックの時間を設け職員のモチベーションアップにもつながっています。

### 専門性の追求

- ①認知症ケアについて  
ひもときシートを活用し利用者がその人らしく過ごしていただけるよう職員の対応方法の統一を行いました。
- ②中重度者の受け入れ  
看護師や理学療法士等の専門職と連携をとり中重度者の積極的な受け入れを行い地域の砦となるような事業所を目指しました。

### チーム（委員会）活動報告

- ①楽リハ・・・理学療法士を中心に個別機能訓練の実施・評価を行いました。
- ②レク・・・利用者様に効果的な機能訓練となるレクを提案し実施しました。季節に合った制作を行いました。
- ③誕生日・・・誕生日プレゼントの考案や誕生日会の割り振り、実施を行いました。
- ④脳トレ・塗り絵・・・認知症の予防と進行防止のレク・作業の提案・実施を行いました。ミッケルアート・シナプソロジーを積極的に取り入れました。
- ⑤広報・・・広報誌作成。より多くの方にデイの様子を知っていただける様に、インスタグラムを定期的に更新しました。
- ⑥美化・・・フロア内の美化に努め、清掃・整理を行いました。
- ⑦事故対策・・・ヒヤリハットの集計。  
デイサービス会議にて再発予防に向けて事例検討を行いました。

<別紙 デイサービスセンター利用者状況について>

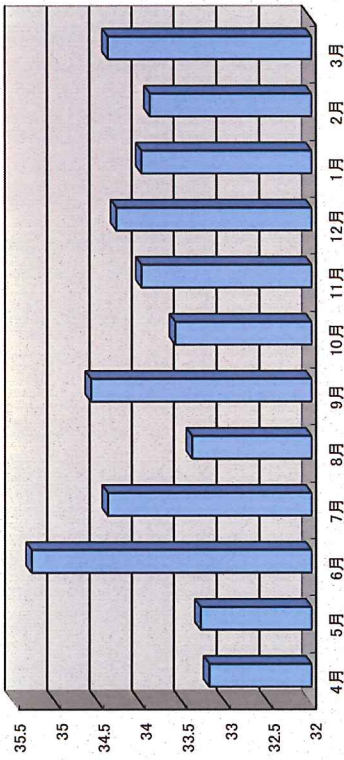
| デイサービス利用者状況 |               | 男性   | 女性   | 合計    |      |
|-------------|---------------|------|------|-------|------|
| 利用者数        |               | 45 名 | 65 名 | 110 名 |      |
| 移動          | 自立            | 23 名 | 25 名 | 48 名  |      |
|             | 杖歩行           | 5 名  | 8 名  | 13 名  |      |
|             | 手引き誘導         | 4 名  | 7 名  | 11 名  |      |
|             | シルバーカーもしくは歩行器 | 3 名  | 16 名 | 19 名  |      |
|             | 車椅子（自走）       | 6 名  | 2 名  | 8 名   |      |
|             | 車椅子（介助）       | 4 名  | 7 名  | 11 名  |      |
| 入浴          | 一般浴           | 31 名 | 39 名 | 70 名  |      |
|             | 機械浴           | 11 名 | 10 名 | 21 名  |      |
| 排泄          | 自立            | 13 名 | 26 名 | 39 名  |      |
|             | トイレ誘導         | 25 名 | 42 名 | 67 名  |      |
|             | ベッド上交換        | 1 名  | 3 名  | 4 名   |      |
|             | パッド使用         | 2 名  | 3 名  | 5 名   |      |
|             | 紙パンツ+パッド使用    | 19 名 | 24 名 | 43 名  |      |
|             | 紙おむつ使用        | 2 名  | 5 名  | 7 名   |      |
|             | 布パンツ使用        | 22 名 | 33 名 | 55 名  |      |
| 食事          | 主             | 常食   | 38 名 | 57 名  | 95 名 |
|             |               | 軟飯   | 2 名  | 2 名   | 4 名  |
|             |               | 全粥   | 4 名  | 5 名   | 9 名  |
|             |               | ミキサー | 1 名  | 1 名   | 2 名  |
|             | 副             | 常食   | 29 名 | 59 名  | 88 名 |
|             |               | 刻み   | 4 名  | 6 名   | 10 名 |
|             |               | 超刻み  | 0 名  | 2 名   | 2 名  |
|             |               | ミキサー | 1 名  | 0 名   | 1 名  |
|             |               | 一口大  | 4 名  | 5 名   | 9 名  |
|             |               | 胃ろう  | 0 名  | 0 名   | 0 名  |

| 日常生活自立度（自立） |  |      | 日常生活自立度（認知） |  |      |
|-------------|--|------|-------------|--|------|
| 自立          |  | 20 名 | 自立          |  | 28 名 |
| J1          |  | 32 名 | I           |  | 31 名 |
| J2          |  | 13 名 | II a        |  | 23 名 |
| A1          |  | 20 名 | II b        |  | 14 名 |
| A2          |  | 9 名  | III a       |  | 8 名  |
| B1          |  | 8 名  | III b       |  | 4 名  |
| B2          |  | 5 名  | IV          |  | 2 名  |
| C1          |  | 2 名  | M           |  | 0 名  |
| C2          |  | 1 名  |             |  |      |

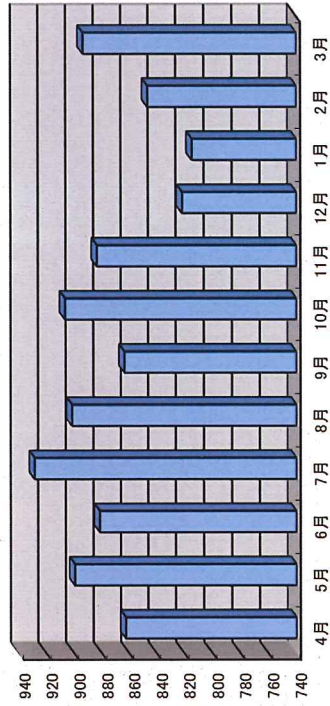
※職員により判定基準様式を参考にしていますので主治医の見解と異なる場合があります。計 110名

# 平成31年度サービス月別利用状況（月～土）

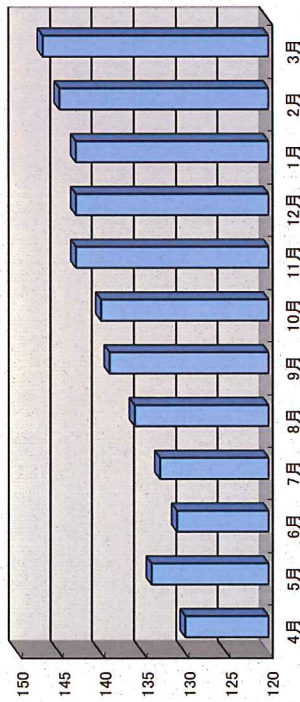
1日平均利用人数



合計利用人数



登録人数



登録廃止人数 ■新規登録人数



|           | H31.3月 | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月  | 2月   | 3月   | 平均    | 前年度平均 |
|-----------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|-------|-------|
| 1日平均利用人数  | 32.4   | 33.2 | 33.3 | 35.3 | 34.4 | 33.4 | 34.6 | 34.6 | 34.6 | 34.3 | 34  | 33.9 | 34.4 | 34.0  | 32.3  |
| 合計利用人数    | 814    | 863  | 900  | 882  | 929  | 902  | 864  | 884  | 822  | 815  | 847 | 894  | 894  | 875.8 | 825.5 |
| 介護給付      | 775    | 827  | 856  | 844  | 891  | 864  | 832  | 869  | 837  | 775  | 768 | 802  | 849  | 834.5 | 775.9 |
| 予防給付・総合事業 | 39     | 36   | 44   | 38   | 38   | 38   | 32   | 38   | 47   | 47   | 47  | 45   | 45   | 41.3  | 50.4  |
| 登録人数      | 134    | 130  | 134  | 131  | 133  | 136  | 139  | 140  | 143  | 143  | 143 | 145  | 147  | 138.7 | 148.9 |
| 登録廃止人数    | 13     | 10   | 3    | 7    | 0    | 1    | 1    | 2    | 1    | 3    | 1   | 3    | 0    | 2.7   | 5.8   |
| 新規登録人数    | 5      | 6    | 7    | 4    | 2    | 4    | 4    | 3    | 4    | 3    | 1   | 5    | 2    | 3.8   | 4.2   |

むさしの園デイサービスセンター富士見

### 利用者様状況・概要

「狭山市介護予防・日常生活支援総合事業」と「通所介護」のサービスを提供しました。「認知症予防と運動」に「笑い」を加えたコンセプトを掲げ、自立した日常生活を営むことができるように支援しました。  
(別紙参照)

### チーム活動

#### <挨拶・接遇チーム>

・職員朝礼で曜日ごとに「クレドの唱和」「言葉遣い・身だしなみ」「ストレッチ」等実施しました。また、隔月ごとに接遇目標を掲示し、職員の士気向上に努めました。

#### レクリエーションチーム>

・脳トレドリルの発行(1回/月)、脳トレプレンの差し替え(1回/週)、昼食後に気軽にできる「プチ脳トレ」をスタートしました。

#### <フロアインテリアチーム>

・季節に合わせた「ちぎり絵」の壁画装飾を利用者様と制作しました。また、利用者様各々の作品を展示し、温かみのある空間作りを意識しました。

#### <お誕生日チーム>

・お誕生日会を開き、手作りの花束と写真をお渡ししました。

#### <体力向上・気分向上チーム>

・笑いを取り入れた新メニュー「笑トレ」をスタートしました。声を出して笑うことを目標とした内容作りに取り組みました。

### 人材育成・自己実現

・今年度の採用は介護職6名でした。  
・自己都合による退職者は6名でした。  
・新人教育では、介護リーダーを中心にマニュアルとチェックリストの活用、個別面談など、細やかな指導を行いました。

### 会議・研修

・毎月第2金曜日18時～19時「デイ会議」を実施し、予定確認、イベント企画、チーム進捗報告、日常業務の情報共有と見直し、利用者様カンファレンスを行いました。

・毎月第4金曜日18時～19時「富士見独自内部研修」を実施し、接遇、介護技術、＜感染症対策、認知症勉強会、自立支援勉強会＞を行いました。

・外部講師による研修への参加を告知し、自己研磨に努めました。

・地域との連携を図るため「富士見・中央圏域会議」に参加し情報共有に努めました。

・自立支援のための「地域ケア会議と評価会議」に出席し多種職連携を図りました。

### 認知症ケア

・「ひもときシート」を活用し、認知症ケアに必要な「課題の抽出」と「課題解決のための基本的思考」の習得を目指しました。

・質の高いケアが統一できるよう、認知症チームを中心に、申し送りを徹底しました。



要介護度別 利用状況

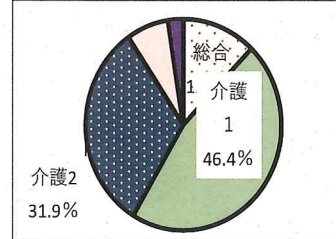
平成31年度年間介護度別利用率

平成31年度、日常生活支援総合事業は、昨年同様、新規募集を見合わせ、介護給付との調整を図りました。また、介護給付への移行が重なり、前年比5%減となりました。

介護給付の介護度別利用率は、要介護1が1.3%増、要介護2が6.2%増となっており、介護給付の稼働率が上昇し、年々重度化が進んでいます。

新規登録者数28名、登録廃止者数31名、総登録者数137名  
職員退職に伴う人員不足により、上半期に新規募集を中止したことが、年間利用人数減少の要因のひとつと考えられます。

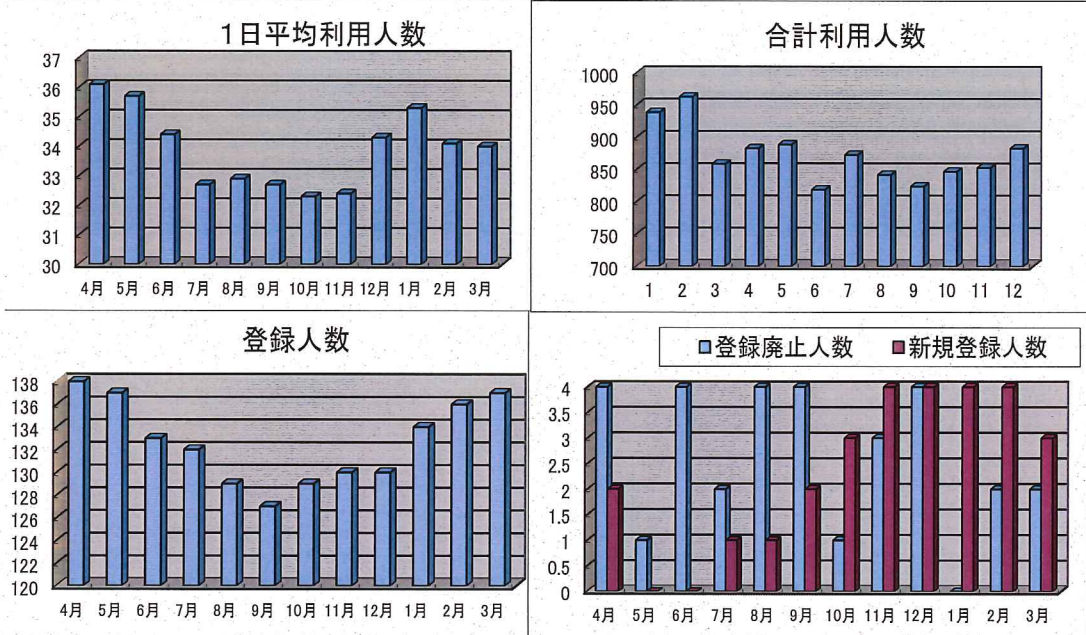
下半期は新規募集を再開し、毎月3~4名の登録者数を確保することができ、次年度の利用人数増加が見込まれます。



|      | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   | 比率     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|
| 総合事業 | 20  | 19  | 18  | 17  | 15  | 13  | 14  | 14  | 15  | 14  | 14  | 11  | 184  | 12.2   |
| 要介護1 | 57  | 55  | 58  | 56  | 58  | 58  | 59  | 56  | 59  | 63  | 63  | 56  | 698  | 46.4   |
| 要介護2 | 40  | 40  | 40  | 40  | 40  | 40  | 40  | 41  | 39  | 40  | 40  | 40  | 480  | 31.9   |
| 要介護3 | 9   | 9   | 8   | 7   | 7   | 6   | 7   | 9   | 10  | 10  | 10  | 13  | 105  | 7      |
| 要介護4 | 4   | 4   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 38   | 2.5    |
| 要介護5 | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0      |
| 請求人数 | 130 | 127 | 127 | 123 | 123 | 120 | 123 | 123 | 126 | 130 | 130 | 123 | 1505 | 100(%) |

※総合事業打分け 要支援1 6名 要支援2 5名

平成31年度デイサービス富士見 月別利用状況 (月~土)



|          | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月  | 平均    | 前年度平均 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-------|-------|
| 1日平均利用人数 | 36.1 | 35.7 | 34.4 | 32.7 | 32.9 | 32.7 | 32.3 | 32.4 | 34.3 | 35.3 | 34.1 | 34  | 33.9  | 37.3  |
| 合計利用人数   | 939  | 963  | 859  | 883  | 889  | 819  | 873  | 842  | 824  | 847  | 853  | 883 | 872.8 | 955.4 |
| 介護給付利用人数 | 817  | 851  | 750  | 783  | 808  | 750  | 800  | 764  | 747  | 777  | 792  | 825 | 788.7 | 813.3 |
| 総合事業実績   | 122  | 112  | 109  | 100  | 81   | 69   | 73   | 78   | 77   | 70   | 61   | 58  | 84.2  | 142.1 |
| 登録人数     | 138  | 137  | 133  | 132  | 129  | 127  | 129  | 130  | 130  | 134  | 136  | 137 | 132.7 | 144.8 |
| 登録廃止人数   | 4    | 1    | 4    | 2    | 4    | 4    | 1    | 3    | 4    | 0    | 2    | 2   | 2.6   | 4.2   |
| 新規登録人数   | 2    | 0    | 0    | 1    | 1    | 2    | 3    | 4    | 4    | 4    | 4    | 3   | 2.3   | 2.9   |

## むさしの園在宅介護支援センター

### 実績件数

- ① 総合事業対象者件数：月平均 13.3 件  
前年度より、24.5%減
- ② 新規要介護件数：年間 71 件  
前年度より、24.5%増
- ③ 要介護担当件数：月平均 154 件  
ケアマネの減員等があり、本年度の目標である 200 件に達することは

### 研修・会議

- ◆外部研修への積極的な参加
  - ・介護支援専門員更新・専門研修
  - ・介護支援専門員レベルアップ研修
  - ・その他県や市の各団体が開催している研修現在求められている介護支援専門員像を明確化し、自分達のスキルアップを目的とし多くの研修に参加した。
- ◆内部研修
  - 在宅部門合同研修を年 10 回開催、特養部門合同研修を 1 回開催した。
  - 職員自らが講師を務めることで、学びを深め、知識向上に努めた。
- ◆会議
  - ・毎週事業所内カンファレンスの実施
  - ・入曽水野日常生活圏域会議  
毎月第 4 金曜日  
(12 月より入曽と水野に分割)
  - ・自立支援型地域ケア会議への事例提出件。
- ◆介護保険サービス事業者協議会
  - ・居宅介護支援グループ主催研修への参加
- ◆コミュニティサロン協議会定例会  
年 2 回

### 実施状況

- ・法人理念である「関わる全ての人を幸福にすること」を念頭に、利用者様が生きがいをもって在宅での生活を送っていただけるよう支援した。
- ・新規要介護件数の増加が見られた。他事業所からの移行ケースも多かった。
- ・地域に開かれた事業所を目指し、わかばカフェ、ふれあいの会を開催。地域の方に必要とされる施設づくりを実行した。

### 地域交流

- ◆ふれあいの会
  - ・6 月 9 日・11 月 17 日に実施
  - 参加者：6 月 49 名  
11 月 36 名
  - 6 月福祉講座：薬局管理栄養士による「低栄養の予防について」  
健康講座：セラバンド体操
  - 11 月福祉講座：消費者センター相談員による「悪徳商法について」  
健康講座：セラバンド体操
- ◆わかばカフェ
  - ・毎月第 2 火曜日 14 時～16 時実施
  - 本年度通算 176 名来園
  - 地域ボランティアの協力を得て、毎月イベントを開催した。(新型コロナウイルスの影響で、3 月は中止)
  - 介護支援専門員が常駐することで、介護に関する情報提供や相談支援ができる体制を整えた。
  - 毎回参加する方も増え、顔なじみの関係ができてきている。その反面、新規の方の参加が少なく、告知方法を改善し次年度は新規開拓を図っていく。
  - カフェの滞在時間を延ばす取り組みとして脳トレやレクの時間を作った結果、一定の効果は得られた。

平成 31 年度在宅サービス合同内部研修実績

| 月   | 研修名        | 研修講師         | 予定日 | 時間              | 司会・書記 |
|-----|------------|--------------|-----|-----------------|-------|
| 4月  | 接遇研修       | 須田・道下        | 第3木 | 18:00～<br>19:00 | 富士見   |
| 5月  | リスクマネジメント  | 外部講師         | 第3木 | 18:00～<br>19:00 | 在支    |
| 6月  | 認知症        | 神津・猪<br>原・田村 | 第3木 | 18:00～<br>19:00 | 在支    |
| 7月  | 福祉用具       | 外部講師         | 第3木 | 18:00～<br>19:00 | デイ入曾  |
| 8月  | 個人情報       | 齋藤・増田        | 第3木 | 18:00～<br>19:00 | ヘルパー  |
| 9月  | メンタルヘルス    | 外部講師         | 第3木 | 18:00～<br>19:00 | デイ入曾  |
| 10月 | 感染症        | 特養職員         | 第3月 | 18:00～<br>19:00 | デイ入曾  |
| 11月 | 社会保障       | 外部講師         | 第3木 | 18:00～<br>19:00 | 在支    |
| 12月 | 緊急時対応      | 外部講師         | 第3木 | 18:00～<br>19:30 | 入曾    |
| 1月  | 高齢者虐待      | 増田           | 第3木 | 18:00～<br>19:00 | 入曾    |
| 2月  | 自立支援       | 外部講師         | 第2木 | 18:00～<br>20:00 | 入曾    |
| 3月  | 感染症対策のため延期 |              |     |                 |       |

一部内容の変更等があったが、ほぼ予定通りに実施することができた。今年度は外部講師による研修が多く、新しい発見も多い内部研修となった。

外部研修(別紙1)

| 日程     | 外部研修名・外部会議名                           | 出席者氏名           |
|--------|---------------------------------------|-----------------|
| 4月19日  | 大生病院におけるうつ病リワーク(復職支援)について             | 立野、三浦           |
| 5月23日  | 地域公開講座・病院見学会                          | 立野、森田、三浦<br>須田  |
| 5月23日  | 患者中心の病院・泌尿器疾患の管理・医療連携                 | 立野、森田、三浦<br>須田  |
| 5月24日  | 入曾・水野圏域会議                             | 立野、森田           |
| 5月31日  | 認知症の看護～生活環境を考える～                      | 立野、森田、三浦、<br>椎名 |
| 6月20日  | 地域医療における薬剤師の役割                        | 立野、森田、三浦、<br>椎名 |
| 7月25日  | あなたの心臓大丈夫?～虚血性心疾患について                 | 立野、三浦           |
| 7月26日  | 入曾・水野圏域会議                             | 三浦、須田、椎名        |
| 7月31日  | 明日から役立つ認知症簡単診断と治療                     | 立野、森田、三浦<br>須田  |
| 9月13日  | 高齢者に多い精神障害について                        | 三浦、須田           |
| 9月20日  | 西部地区各市における認知症初期集中支援チームの現状と課題          | 立野、森田、三浦、<br>椎名 |
| 9月27日  | 入曾水野包括圏域会議                            | 森田              |
| 10月16日 | リハビリ体験会<br>訪問リハビリについての相談会             | 立野、森田、三浦、<br>椎名 |
| 10月23日 | 個別化ケア～個人を大切にするケアの考え方～                 | 三浦、高橋、椎名        |
| 11月12日 | オレンジカフェ交流会                            | 須田、高橋、          |
| 11月15日 | 精神科病院の機能と役割について<br>～狭山ヶ丘病院医療連携室の視点から～ | 三浦、須田           |
| 11月22日 | 入曾・水野圏域会議                             | 須田、高橋           |
| 12月18日 | 愛の家見学、認知症ケアミニ事例                       | 三浦、高橋           |
| 1月27日  | 難病法の概要、障害者総合支援法における難病患者への障害福祉サービス     | 三浦、須田           |
| 2月10日  | 居宅介護支援グループ定例会                         | 須田、高橋           |
|        |                                       |                 |

むさしの園ホームヘルプサービス

### 活動状況

「関わる全ての人を幸福にすること」という経営理念に基づき、利用者様に「笑顔と元気を届けよう」を合言葉としてお互いに笑顔になれるよう、利用者様のニーズに合ったサービスの提供とより良い信頼関係を築けるように努めました。

### 自己成長

ヘルパー会議を定期的に行い、実習や研修会を行うことでヘルパー一人ひとりのスキルアップを図り、ケアカンファレンスではサービス中に困ってしまったことや、悩みを話し合うことで解決でき、情報を共有してみんなが同じサービスの提供が出来るようにしました。

### サービス状況 ※ () 内は前年度合計

#### 〔要介護度別利用人数 (年間利用)〕

要介護 1 267 人 (197 人)  
要介護 2 72 人 (117 人)  
要介護 3 4 人 (29 人)  
要介護 4 4 人 (10 人)  
要介護 5 6 人 (3 人)  
年間利用合計 353 人 (356 人)

#### 〔狭山市介護予防・日常生活支援総合事業〕

##### 訪問型サービス A

要支援 1 63 人 (106 人)  
要支援 2 99 人 (72 人)

##### 介護予防訪問介護相当サービス

要支援 1 7 人 (11 人)  
要支援 2 21 人 (3 人)

### サービス状況 ※ () 内は前年度合計

#### 〔派遣サービス別延べ件数〕

身体介護 1037 人 (1039 人)  
身体生活 462 人 (438 人)  
生活援助 1019 人 (1027 人)

#### 〔月間登録者数〕

平均 47.5 人 (50.2 人)

#### 〔月間利用者数〕

平均 44.5 人 (45.6 人)

### 活動報告

今年度は身体介護より身体生活の利用者数が増加しています。総合事業の利用者も訪問介護相当サービスの利用者の増加がみられています。今年度の目標達成には、月間登録者数月間利用者数、共に少し欠けた人数となり達成とはなりません。事業収益は 1.02 倍となりました。

## ヘルパー会議・研修報告

(18:00~19:30) 開催

| 月   | 内 容   | 月 日   |
|-----|---|-------|
| 4月  | ケアカンファレンス<br>精神疾患の利用者の対応について                | 4/26  |
| 5月  | ケアカンファレンス<br>緊急の場合の対応について                   | 5/24  |
| 6月  | ケアカンファレンス<br>熱中症について（水分補給と室温調整の大切さ） 集団指導の報告 | 6/28  |
| 7月  | ケアカンファレンス<br>調理実習 「卵料理」「簡単漬け置きレシピ」          | 7/26  |
| 8月  | ケアカンファレンス<br>リスクマネジメント                      | 8/23  |
| 9月  | ケアカンファレンス<br>認知症について                        | 9/27  |
| 10月 | ケアカンファレンス<br>利用者さん宅の掃除の仕方について               | 11/1  |
| 11月 | ケアカンファレンス<br>感染症（インフルエンザ）                   | 11/29 |
| 12月 | ケアカンファレンス<br>感染症（ノロウイルス）                    | 12/20 |
| 1月  | ケアカンファレンス<br>高齢者虐待について                      | 1/24  |
| 2月  | ケアカンファレンス<br>病気を学ぶ（新型コロナウイルス感染症）            | 2/22  |
| 3月  | ケアカンファレンス<br>1年の振り返り                        | 3/22  |



## サービス推進課

|                 |                                  |    |
|-----------------|----------------------------------|----|
| 部署目標<br>(令和1年度) | 【1】採用強化：問合せ200件 面接75件            | 達成 |
|                 | 採用 介護 35名 (内新卒5名)                | 達成 |
|                 | 保育 5名 (内新卒2名)                    | 達成 |
|                 | 【2】人材定着支援：離職 前年度対比 -6名増 (離職率3%減) | 未達 |
|                 | 新卒フォローアップの実施                     | 達成 |

| 結果    | 4月～6月                           |    |    | 7月～9月 |    |    | 10月～12月 |    |   | 1月～3月 |   |   | 合計 |
|-------|---------------------------------|----|----|-------|----|----|---------|----|---|-------|---|---|----|
| 学校訪問  | 15                              | 15 | 10 | 10    | 12 | 10 | 9       | 16 | 0 | 0     | 0 | 0 | 97 |
| 合同説明会 | 1                               | 2  | 3  | 2     | 2  | 2  | 1       | 1  | 1 | 0     | 0 | 0 | 15 |
| 採用数   | 介護 42名 (内新卒6名) 保育 11名 (内新卒2名)   |    |    |       |    |    |         |    |   |       |   |   |    |
| 離職状況  | 離職者 介護 42名 保育 4名 計46名 (前年対比9名増) |    |    |       |    |    |         |    |   |       |   |   |    |
|       | 離職率 19% (前年対比+1.6%)             |    |    |       |    |    |         |    |   |       |   |   |    |

## 【 総括 】

## 【採用強化】

1. 学校訪問：後半はコロナの影響があり、目標に対しての追い込みと上乘せができず3件未達。  
訪問できなかった分は、DMとTEL入りに切り替えて対応。
2. 合同説明会参加：ハローワーク、社協、キャリアタス、ユメックス、学校等の説明会に15回に参加。  
一部説明会を除き、見学・面接に繋げ採用に繋がりました。成果を基に今後の参加を精査します。
3. 法人ホームページ：内容をリニューアルし、ホームページからの採用は増加。
4. 採用活動管理：学校訪問、説明会参加など行動を予実管理し効果が高いものを分析する。  
採用活動費：採用にかかる費用を集計して予算管理をする。令和1年度予算は6,000,000円。  
→ 令和1年度 予算6,000,000円 実績 6,731,042円 (内紹介料は1,682,000円)  
離職の増加により、一時的な人材確保の為、紹介会社を利用しましたが、紹介料を除くと予算内で採用目標を達成しています。

## 【人材定着支援】

1. 新卒フォローアップ：1・3・6・12か月で面談を実施。令和1年度新卒4名は在職中
2. 意見箱の設置：11月より設置し、投書件数 13件 (内匿名4件) 匿名を除く9件は個人面談で対応  
匿名には事業所内掲示で対応  
投書内容は主に職場環境の改善や職場内ルールの整備など基本的なモノが多く  
ほぼ改善できる内容。(内コロナに関する不安相談は2件)  
日頃の職員とのコミュニケーションも課題

採用担当による離職防止は新卒フォローアップでの効果が今後も期待できると判断します。

ただし、中途採用者に対しては、現場での受入れ対応やフォローアップを根本から見直す必要があり各事業所へ改善を求めるものとします。

# 生活困窮者に対する相談支援事業

|  |   |
|--|---|
| 平成31年度 事業報告書   |   |
| 生活困窮者に対する相談支援事業  |   |
| 今年度の活動   | 担当相談員の増員  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談開始から3か月以内に支援は<br/>         終了しています。</li> <li>・年間相談件数 3件<br/>         相談元：<br/>         トータルサポート推進課1件<br/>         狭山市社会福祉協議会2件<br/>         総支援額：19,794円</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特養相談員を新しく相談に増員<br/>         しました。これによって、生活困<br/>         窮支援の相談員は3名体制となりま<br/>         した。</li> </ul> |
| 支援方法について   |   |
| <p>狭山市の安心セーフティネット事業は、生活困窮者自立支援機関からの相談がほとんどとなっています。</p> <p>今後も相談元と連携し、本人の自宅に出向き生活状況の聞き取り、実態調査を行います。調査後、利用可能な制度や機関がないか検討し、どこにもつなげられないまたは利用できる制度がない場合に経済的支援を行っています。</p>   |   |
| 研修、会議参加・地域福祉活動   |   |
| <p>【研修・会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/28,11/19                    安心セーフティネット会議に参加</li> <li>・6/27,7/19                    安心セーフティネット事業担当相談員養成研修参加</li> <li>・8/2,9/25,11/26              狭山市フードバンクプロジェクト活動・会議参加</li> <li>・8/24,9/7,9/21                入曽地区子育て支援拠点ワークショップ参加</li> <li>・7/18,7/26,9/19.1/30        第一層協議体会議参加</li> <li>・5/17,5/24,6/3,7/26,12/28,1/21.1/25.1/26<br/>            全国小地域福祉活動大会実行委員活動</li> <li>・11/29 セーフティネット事業5周年記念式典参加</li> <li>・2/10 彩の国あんしんセーフティネット事業第二回担当相談員専門研修参加</li> <li>・2/21 彩の国あんしんセーフティネット事業第二ブロック会議・研修参加</li> </ul> |   |

# ひまわり保育園

|           |  |
|-----------|--|
| 平成31年度の目標 | <p>【1】入園児を9月までに0・1・2歳児を満員にする。</p> <p>【2】定員を17名から19名に拡大する。</p> <p>【3】保育の質を高めるため、研修内容の充実、職員間の情報共有を改善します。</p> |
|-----------|--|

令和2年度の入園児目標

|                |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 定期的            | クラス | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   | 2   | 3  |
|                | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1  |
|                | 1   | 4   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8  |
|                | 2   | 4   | 4   | 4   | 4   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5  |
|                | 3   | 2   | 2   | 2   | 2   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
|                | 4   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
|                | 5   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
|                | 合計  | 10  | 10  | 11  | 12  | 14  | 14  | 14  | 14  | 14  | 14  | 14  | 14 |
| 稼働率            | 53% | 53% | 58% | 63% | 74% | 74% | 74% | 74% | 74% | 74% | 74% | 74% |    |
| 一時預かり<br>利用可能数 | 9   | 9   | 8   | 7   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   |    |

活動報告

|  |
|--|
| <p>【入園児目標】</p> <p>0・1歳児は9月に満員を達成。2歳児に関しては8月で満員を達成。</p> <p>【定員変更】</p> <p>定員変更は令和2年2月1日に定員19名に変更完了。</p> <p>【保育の質の向上】</p> <p>外部研修にできるだけ参加し、学んできたことを内部研修で発表する方法で行った。</p> <p>内部研修の開催回数。 10回</p> <p>内部研修のテーマ「救急救命」、「クレーム対応」、「手遊び」、「虐待防止」、「感染症予防」、「記録の書き方」、「保育指針」、「個人情報」、「話し方」、「保護者対応」</p> <p>外部研修の参加回数。7回</p> <p>外部研修のテーマ「クレーム対応」、「人材育成」、「虐待防止」、「企業主導型保育園施設長研修」</p> <p>「保育記録の書き方」、「事務員研修」、「保育安全研修会」</p> <p>→埼玉県社協主催の研修に参加したが、保育に特化していないため不消化を起こす職員もいた。</p> <p>来年は保育に特化した団体が主催する研修に参加できるようにしたい。</p> <p>【その他】</p> <p>○リスクマネジメント</p> <p>月に1回防災訓練を行った。</p> <p>プール遊びのマニュアルを見直し、改訂した。見守り係をもうけ安全にプール遊びを行った。</p> <p>○高齢者施設との交流</p> <p>ケアハウス、デイサービスセンターに訪問し交流を行った。</p> <p>○園庭の充実</p> <p>令和1年11月にリハビリロードが完成。その敷地内にひまわり保育園児用の大型遊具を配置した。</p> <p>安全に遊べる園庭ができたことで、遠方の公園に外出する機会も少なくすんでいる。</p> |
|--|

# むさしの森保育園

|      |  |
|------|--|
| 部署目標 | ①保育内容・環境の確立<br>②組織運営体制の確立<br>③職員育成制度の確立<br>④施設・備品の整備<br>⑤財政基盤の確立<br>⑥地域・関係諸団体との連携の確立 |
|------|--|

## 結果

|   |
|---|
| <p>① 開設時点で保育内容、保育環境の整備が追いついておらず、大幅な改善を必要とした新規施設としてある程度の設備は充実しているものの、設備の意図や用途が職員に伝わっていないことが多く見直しを実施。保育内容は副園長を迎え副主任以上で改めて内容を新年度に向け改善</p>  |
| <p>② 組織、運営体制は、機能していなかった為、新年度に向け組織を見直し。処遇改善と併せて職位ごとの待遇の見直しも実施</p>  |
| <p>③ 育成制度は外部の必須研修が主に採用されており、今後の加算には必要な内容となりますが、根本的な職員の育成には役に立っていない。新年度は、必須研修は継続すると共に職員育成に関わる研修と研修の年間スケジュールを構築して改善に取り組む<br/>令和2年度より、導入できていなかった人事評価制度をプレ導入<br/>目標管理、評価方法、部下の育成などを根本から指導していく</p> |
| <p>④ 施設備品の整備は、備品の選定購入方法から見直しを必要とする。<br/>取引業者の精査を実施し、不利益となる業者はすべて排除を予定。<br/>備品購入については予算管理を実施し、年度ごとに必要な遊具を選定する。<br/>保育教材に関しては、リーダー以上に予算管理を指導</p>  |
| <p>⑤ 財政基盤は、園児数と加算の取得要件による割合が高く。選ばれる園になることが必須<br/>一時保育事業は園の努力で売り上げを伸ばすことが可能になる為、目標設定を基に営業活動を実施していく。</p>  |
| <p><b>【総括】</b> 事業計画の達成基準が不明確なため、根本から見直しを実施<br/>明確な達成基準と行動目標を作成し、職員に達成感を覚えてもらえるよう改善に取り組みます。</p>  |